

No	3	分類	3-(2)-ア	資料名	まほうの ことば	学年	1年	領域	道徳	2-(1)
----	---	----	---------	-----	----------	----	----	----	----	-------

### 1 ねらい

- 相手の気持ちを考えて、気持ちのよい言い方や行動をしようとする。

### 2 趣旨

- あいさつは、社会生活を豊かにするために身につけておきたい基本的なスキルの一つである。あいさつが自然にできるということは、社会性を培うことやよりよい人間関係を結んでいくという観点からも大切である。
- 相手の気持ちを考え、自分の思いが伝わる気持ちのよい言い方や行動がとれることで、自分も相手もよい気持ちとなり、お互いの生活を豊かにしていくということを、「まほう」という不思議な力のイメージから感じ取れるようにさせる。
- 朝（家庭）、昼（地域）、放課後（学校）のそれぞれを象徴した場面で、できた時とできなかった時の明暗の対比から、相手を思いやる言葉がお互いの人間関係を豊かにすることに気づかせたい。そして、生活の中から「自分のまほう」を探す活動に発展させ、学習を深めさせる。

### 3 配慮事項

- 児童や家庭、地域の実態や課題に合わせて場面設定などを工夫する。  
また、指導にあたっては、家族や友だちだけでなく、地域との結びつきや高齢者とのふれあいなど、対象の範囲を広げて学習していくことも可能である。
- 例示以外の場面を設定し、「すてきな 一日」と合わせて、よりよい人間関係を結ぶためのスキルの育成に活用したい。
- 事前準備として、あいさつについて児童の様子を把握しておき、指導に生かすとともに、事後には、終わりの会などで「わたしのまほう」を肯定的に評価し合う活動を継続していくことが大切である。

### 4 展開例

学 習 内 容	指 導 上 の 留 意 点
1 三つの例示された場面をもとに、明るい表情になったのはどんな言葉かけがあったのかを話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">どうして、明るい絵になったり、暗い絵になったりするのでしょうか。</div>	・自分の生活を想起させながら、興味づけをする。
2 主人公が、「まほう」と感じたわけを話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">どうして、ことばかけを「まほう」だと思ったのでしょうか。</div>	・あいさつなどができたことで、自分もまわりの人も明るくなることを感じさせたい。
3 これまでの自分の生活を振り返り、自分の「まほう」を探す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">わたしの「まほう」を発表しましょう。</div>	・ロールプレイ（役割演技）で明暗の場面を比較させることも効果的である。 ・人間関係を活性化させるためには、肯定的な声かけが大切なことに気づかせる。